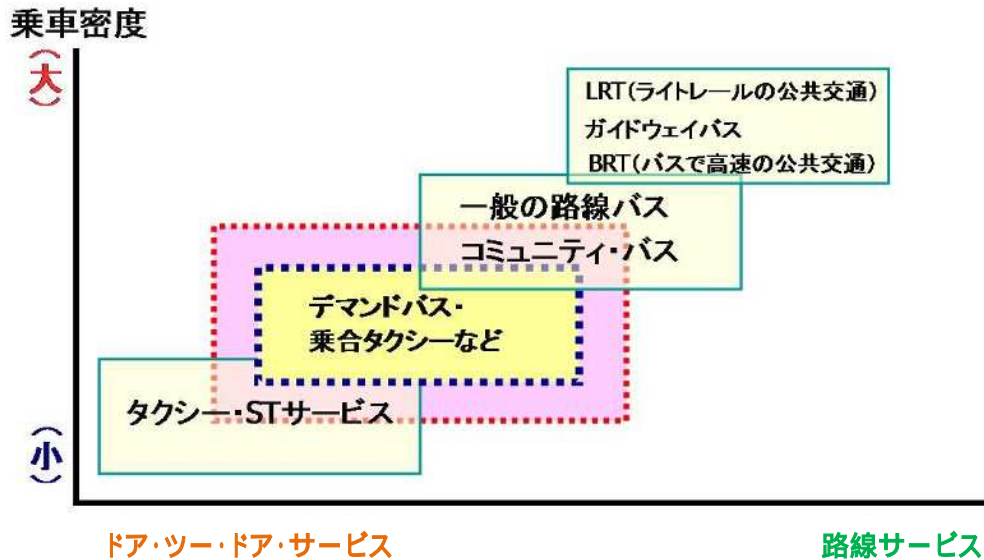
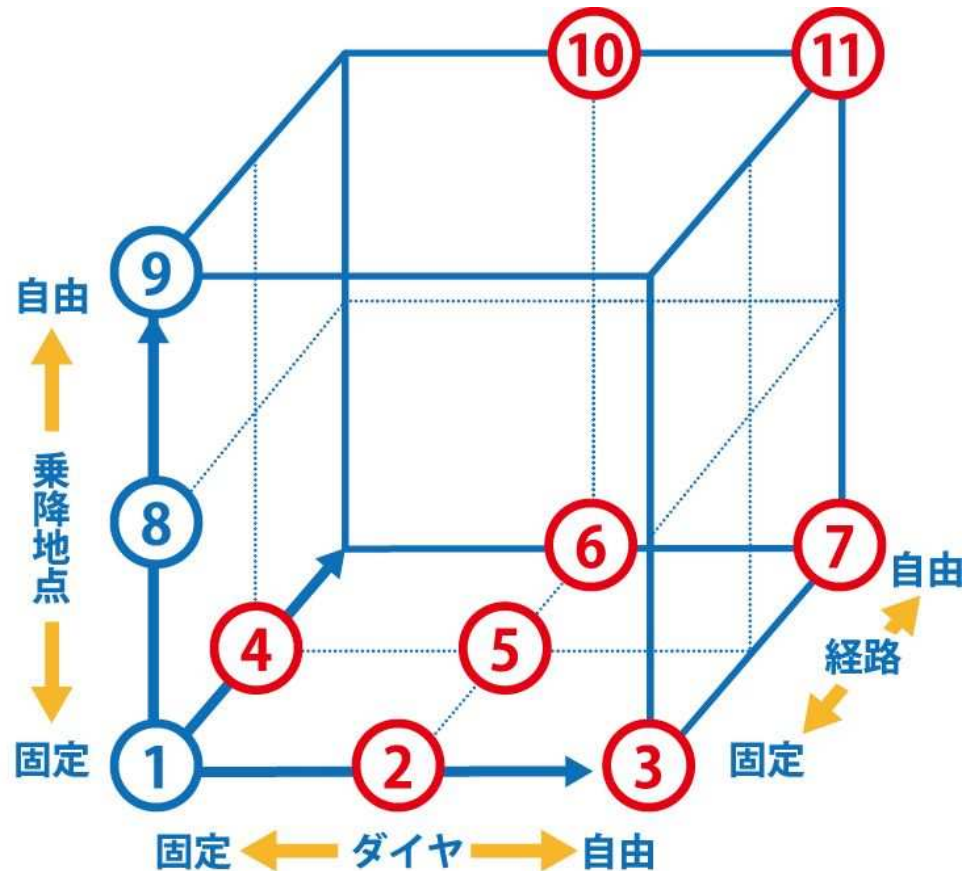


## デマンド型交通とは

需要（デマンド）があった場合に運行を行う交通。  
タクシーと路線バスの中間の交通機関とされる。



- 乗降地点・ダイヤ・経路を軸とした場合、デマンド型交通に該当する運行形態は、8パターン存在。



# デマンド型交通の導入事例

## 帯広市大正地区 「あいのりタクシー」

### 【目的】

大正地域(農村部)  
の交通の確保



### 【運行方法】

予約制の相乗り形式のタクシーで、帯広大正地区であれば行きたい場所へどこへでも送迎。平成18年10月より、市街地までの乗り入れを開始。

### 【利用料金】

大人:500円 高校生以下300円

### 【予約・配車システム】

利用日時 11/02/02 22:38-52	利用場所 帯広市大正地区(帯広駅前)	予約日時 11/02/02 22:38-52	乗車人数 1名
乗車時間 08:00-01 10:00-01 12:00-01 14:00-01 17:00-01	乗車場所 乗車場所 乗車場所 乗車場所	乗車場所 乗車場所 乗車場所 乗車場所	乗車場所 乗車場所 乗車場所 乗車場所
乗車料金 乗車料金 乗車料金 乗車料金	乗車料金 乗車料金 乗車料金 乗車料金	乗車料金 乗車料金 乗車料金 乗車料金	乗車料金 乗車料金 乗車料金 乗車料金



【対象エリア】

大正地区

以平線

大和線

10km

2km

# 恵庭市「乗合タクシー」

## 【目的】

- ・ 交通空白・不便地域における生活交通の確保
- ・ 乗合タクシーの課題改善の効果
- ・ 乗合タクシーの新たな課題の抽出

## 【運行方法】

あらかじめ電話等で予約いただいた該当地域の方々を、乗合タクシー方式で自宅から順番に、それぞれ目的地（指定施設：公共施設・JR駅・病院・商業施設等）まで送迎するサービス

運行エリア

対象地域の全て

市街地の指定場所

【予約・配車システム】

The screenshot shows a web-based reservation system interface. It includes a header with the date '2011/02/02' and time '21:34:23'. The main area is divided into several sections: '利用希望情報' (Usage Request Information) with fields for name, gender, and age; '予約情報' (Reservation Information) with fields for reservation date, time, and location; and '利用希望情報' (Usage Request Information) with fields for phone number, address, and contact information. There are also buttons for '予約登録' (Reservation Registration) and '予約取消' (Reservation Cancellation).

## 【運行便数・利用時間帯】

現在

往復路			1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便
自宅		指定の施設	7:30 ~	9:00 ~	10:30 ~	12:00 ~	13:30 ~	15:00 ~	16:30

## 【利用料金】

1回の乗車	大人(中学生以上)		小学生		未就学児 無料
	一般	障がい者及び介護人	一般	障がい者	
	300円	各150円	150円	80円	

※保護者1名につき未就学児2名無料 ※障がい者手帳をお持ちの方は、料金支払時にご提示ください

## 【指定場所】

JR駅・・・恵庭駅等3駅

公共施設・・・市役所・図書館等12施設

スーパー・・・10店舗

救急指定病院・・・3箇所

病院・診療所・・・27箇所

公衆浴場・・・2箇所

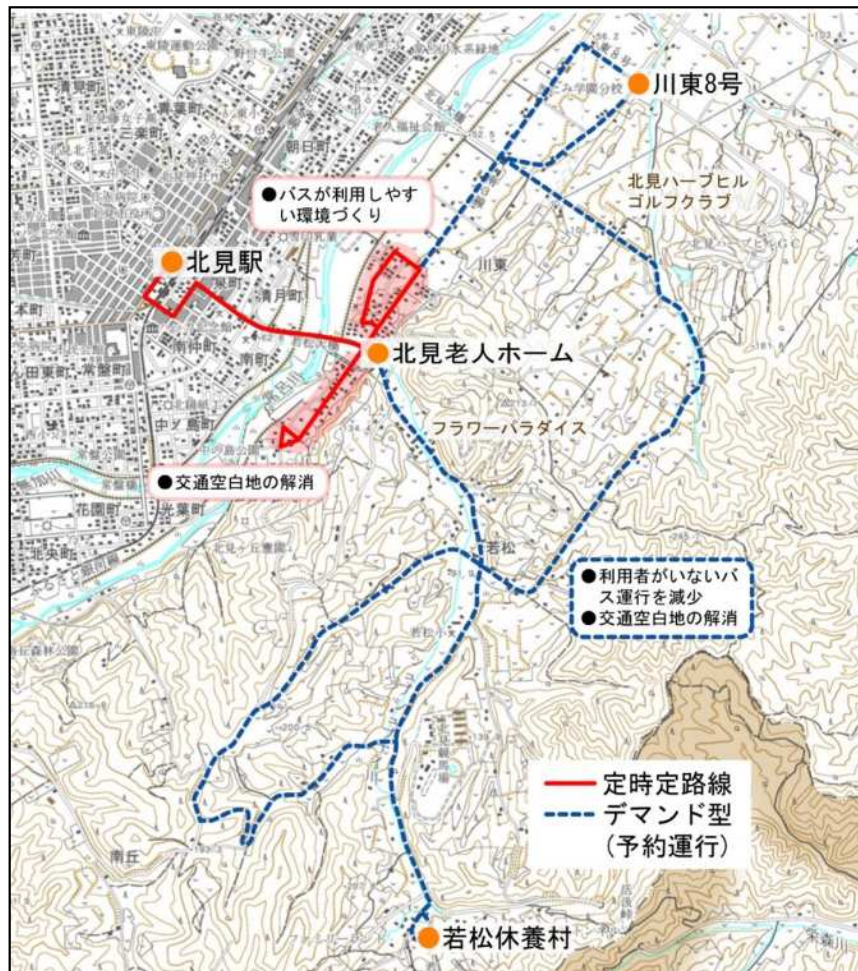
## 【使用車両】



# 北見市「定時定路線+乗合タクシー」

## 定時定路線

赤い線は、時刻表に沿って同じ路線を運行。今までバス路線が無かった地域を運行すると共に、一部は住宅地の中を運行。



## デマンド型 (予約運行)

青い線は、今まで利用者の方が少なかった地域。これからは、タクシーのように電話で、利用の予約をいただいた場合に運行。決まったバス停は無く、自宅近くの路線 (青い点線) で乗車。



# 市街地循環線のデマンド型交通の可能性検証

	検討項目	検討方法
需要側	運行時間帯	既存の利用者のニーズを把握 市街地循環線運行実績データの便別利用者数を基に分析
	運行エリア	市街地循環線のサービス提供範囲を踏まえたエリア設定 H23年度バス乗降調査における他路線の利用実態を基に分析
	電話予約に対する抵抗感	予約運行に対する利用者の意向を把握 市街地循環線の車内での利用者へのヒアリング調査を実施する。
	利用者制限の必要性	交通弱者のみ や 病院患者のみ といった利用制限の必要性を検討
供給側	法制度	都市型デマンドの運行に係る法制度の整理を行う。
	運行車両	需要及び法制度等の面から、運行車両（車種・台数等）の検討を行う。
	運行事業者	運行事業者に関する検討を行う。 タクシー事業者2社に対し、実施意向等のヒアリング調査を実施
	運行収支	運賃については、サービス低下（値上げ）により更なる利用者の減少を招く恐れがあることから、現状の運賃200円を想定して検討を行う。